

令和4年度のがん検診の申し込みが始まります

令和4年度各種がん検診等申込書を各世帯に1部発送しています。世帯主以外のご家族の受診希望も確認し、申し込みをお願いします。がんの早期発見、早期治療に繋げるためにもがん検診を受けましょう。

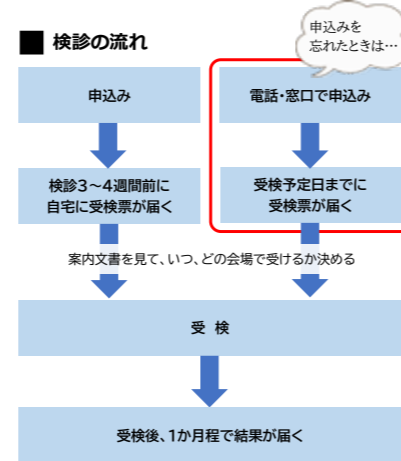
がん検診は症状のない人のための検査です。

明らかな症状がある場合は、体の状態に応じた適切な検査や治療が必要になります。必ず医療機関を受診しましょう。



健康福祉課 Tel 0193-42-8716

項目	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	骨粗鬆症	腹部エコー	前立腺がん
対象者	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上の女性 [昭和偶数年生 平成奇数年生]	40歳以上の女性 [昭和偶数年生]	40歳以上の女性	40歳以上	50歳以上の男性
料金	1,000円	500円	500円	1,000円	1,000円	500円	1,000円	500円
内容	バリウムを飲み、胃のエックス線撮影を行います	胸部のエックス線撮影を行います	2日分の検便を提出します	内診の他、子宮口を軽くこすって細胞を取り調べます	マンモグラフィ検査を行います	素足になり、かかとの骨密度を調べます	膵臓・肝臓・胆のうの超音波検査を行います	血液検査を行います
記入例	○			****	****			



下記の4つの検診は生活習慣病健診会場で受けることができます。
※印は、事前申込みは不要です。受診希望の場合は、会場で申し出てください。
生活習慣病健診（特定健診等）の対象者には、日程が近くなると案内が届きます。

肺がん検診	レントゲン検査 かたかた 喀痰検査（※）	対象者：40歳以上 対象者：40歳以上で喫煙指数が600以上の人 （参考）喫煙指数＝1日の喫煙本数×喫煙年数
前立腺がん検診		対象者：50歳以上の男性
肝炎ウイルス検査（※）		対象者：40歳以上で、過去にB型・C型肝炎ウイルスの抗体検査を受けたことがない人 ※40歳到達年の該当者には受診券を送付します。

来年度は対象外の検診です

受ける検診に○を書きましょう

こちらチェック!! インフルエンザ予防接種期間を1月末まで延長します

高齢者インフルエンザ予防接種および子どものインフルエンザ予防接種費用助成について、下記のとおり実施期間を延長します。なお、ワクチンの入荷状況により、予防接種を実施できない場合がありますので、接種前に必ず医療機関へご確認ください。

旧) 令和3年10月11日(月)～令和3年12月28日(火)
新) 令和3年10月11日(月)～令和4年1月31日(月)

健康福祉課 Tel 0193-42-8716

高齢者インフルエンザ予防接種

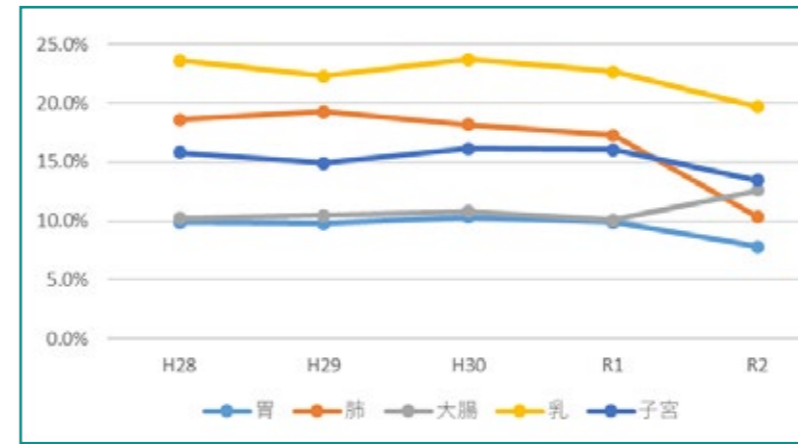
- 対象者 接種日時点において
 - ① 65歳以上
 - ② 60～64歳で身体障害者手帳1級程度（内部障害）
- 接種料金 2,000円（生活保護受給世帯は無料）
- その他 町内および釜石市内の医療機関以外で接種を希望する場合は、事前に手続きが必要です。上記連絡先へ問合せください。

子どものインフルエンザ予防接種助成

- 対象者 生後6か月～18歳未満（高校3年生相当）
- 助成金額 1回接種につき2,000円
- 場所 町内医療機関および県立釜石病院
※助成適応後の自己負担額が掲示されます。
- その他 町内医療機関および県立釜石病院以外の接種は償還払いで助成します。窓口での申請が必要です。

がん検診を受けましょう

～早期発見 早期治療を～



大槌町のがん検診受診率の変化（平成28年度～令和元年度）

がんは不治の病ではありません。早期がんの段階で治療を受ければ9割が完治するといわれています。早期がんを発見するためには、がん検診を受けることが有効です。症状が無いうちから定期的に検診を受けることが大切です。

町のがん検診受診率は減少傾向

日本人の死亡原因の1位はがん（悪性新生物）です。大槌町の場合も、死亡原因1位はがんとなっていて、内訳は1位胃がん、2位肺がん、3位すい臓がんとなっています。釜石

がんは不治の病ではありません。早期がんの段階で治療を受ければ9割が完治するといわれています。早期がんを発見するためには、がん検診を受けることが有効です。症状が無いうちから定期的に検診を受けることが大切です。

定期的な検診で早期発見を

日本人の2人に1人は一生のうち何らかのがんにかかるといわれています。誰でもかかる可能性がある病気です。生涯でがんになる確率は男性が65%、女性が50%。がんで死亡する確率は男性が27%、女性が18%といわれています。

保健所管内は県内の他地域と比べ、がんによる死亡率が高くなっています。（死亡原因2位は心疾患、3位が脳血管疾患となっています。）

大槌町のがん検診受診率は、年々減少傾向にあります。（上表）しかし、検診を受けた精密検査対象者のうち26人ががんが見つかり、うち14人は早期がんであり、早期治療へつながっています。（右表）

病名	精密検査対象者数	見つかった人数
胃がん	120人	3人
肺がん	112人	7人
大腸がん	222人	7人
乳がん	24人	9人
子宮頸がん	24人	0人

精密検査受診者のうちがんが見つかった人数（平成28年度～令和元年度）

がんを防ぐための新12か条

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1条 たばこは吸わない | 7条 適度に運動 |
| 2条 他人のたばこの煙を避ける | 8条 適切な体重維持 |
| 3条 お酒はほどほどに | 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療 |
| 4条 バランスのとれた食生活を | 10条 定期的ながん検診を |
| 5条 塩辛い食品は控えめに | 11条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を |
| 6条 野菜や果物は不足にならないように | 12条 正しいがん情報でがんを知ることから |

がん検診と同時に生活習慣改善でがん予防

がんの発症には日頃の生活習慣が関係しています。いつまでも健康に過ごすために、「がんを防ぐための新12か条」を意識して過ごしましょう。